

ブックちゃんの

2023年2月1日発行

ふじのみや探検



第39号 徳川家康のひみつ

発行：富士宮市立中央図書館 〒418-0067 静岡県富士宮市宮町13-1 TEL:0544-26-5062 FAX:0544-26-1284

徳川家康は、静岡県と深いかわりがあります。今川氏の人質として静岡県に住んでいました。浜松城を居城とし、征夷大將軍を引退した後は、駿府城に住みました。お墓は、静岡市の久能山東照宮にあります。また、家康は、富士宮市ともかわりがあります。その秘密を探っていきましょう。



©富士宮市さくやちゃん

ひみつ1 家康の一生は？

主に、静岡県や富士宮市に関係することをまとめました。

- 1542 岡崎城主松平広忠の跡継ぎとして生まれる 幼名は竹千代
- 1549 今川氏の人質として、静岡市の臨濟寺に預けられる 14歳で元信と改名する
- 結婚後 元康と名乗る
- 1560 桶狭間の戦い その後今川氏から独立する
- 1563 家康と改名する
- 1570 浜松城を造る
- 1582 織田信長が、大宮(富士宮市)に宿泊した際、御座所(居室)を建て、信長を接待する
- 1586 豊臣秀吉に従う 浜松城から駿府城(静岡市)に移る
- 1590 駿府城から江戸に移る
- 1600 関ヶ原の戦いに勝利する
- 1603 征夷大將軍に任命され、江戸幕府を開く
- 1604 富士山本宮浅間大社本殿再建の命令を出す
- 1607 角倉了以に「富士川の舟運」を開かせる
- 1610 「芝川のり」が、佐折村(富士宮市)の遠藤主水により献上される
- 1616 駿府城で死去し、久能山に埋葬される



約260年続く江戸幕府の基礎を築いた家康に関するお話は、いろいろあります。その中でも有名な、のちに三大危機と言われる命の危険が迫った出来事がありました。次の3つがその危機です。

危機その1 ^{みかわいっこういっき}三河一向一揆 (1563年)

三河（愛知県）の一揆は、家康の家臣たちが、一向宗の寺にある米を取り立てたため、寺が家康に反発して起こりました。有力な家臣が一向宗の信者で、一揆側につく家臣もあり、家康の家臣団同士が敵味方に分かれて争うすさまじい戦いとなりました。家康は追い込まれていきます。しかし、一揆側がまとまって家康側と戦わなかったことなどにより、家康はこの一揆をすずめ、一揆側についた家臣でも許すなどして、三河を安定して治めていきます。

危機その2 ^{みかたがはら}三方ヶ原の戦い (1573年)

武田信玄が駿河（静岡県）に攻めてきたとき、浜松城にいた家康は、信玄が浜松城を攻めないで通過したのを見て、城にこもらないで、背後から信玄を討ちにお城を出ました。これは、家康軍を城から出てこさせようとする信玄のわなで、三方ヶ原台地（浜松市）で信玄は待ち構えていました。圧倒的な武田軍の強さに、大敗北し命からがら浜松城に逃げ帰りました。この敗走の時のことを忘れないようにするため描かれた肖像画が「しかみ像」です。（この像については、最近、新たに違う解釈が出てきています。）この戦いの前に「一言坂（磐田市）の戦い」（1572年）があります。この時も家臣の本田忠勝の活躍があり、家康は命を失わずにすみしました。家康が「一生に一度、一言だけ願いをかなえる」と伝わる「一言観音」に祈願したため助かったとも言われています。



危機その3 ^{しんくんい が ごえ}伊賀越え（「神君伊賀越え」とも言われる）

織田信長が山梨県の武田氏を討伐した際、宿の準備や接待などの協力をしたお礼に、家康は、1582年5月15日信長に安土城（滋賀県）へ招待されました。この時の接待役が明智光秀でした。その約二週間後、明智光秀の起こした本能寺の変で信長は、自刃します。家康は、信長と同盟関係にありましたから、光秀に命を狙われることとなります。信長に言われて、のんびり堺の見物をしてきた家康には、お付きの者は30数人だけです。堺から自分が生まれた愛知県の岡崎城まで逃げるには、伊賀（三重県）のけわしい山中を越えるルートしかありません。伊賀は一揆が多く起きていましたし、落ち武者狩の者たちもいっぱいいます。実際、家臣の穴山梅雪（元武田氏の家臣で富士宮市の麓の金山を支配していた）は、この時命をおとしています。伊賀者たちの助けもあり、家康はかろうじて岡崎城まで逃げました。

ひみつ3

てっぽうまんだら 「鉄砲曼荼羅」って何？



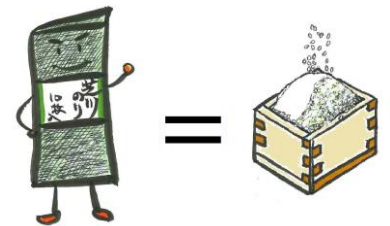
鉄砲曼荼羅

『徳川家康と本門寺堀』富士宮市/発行
平成30年)より

1575年、^{ながしの}長篠・^{したらはら}設楽原の戦いで、織田信長・徳川家康連合軍は、^{たけだかつより}武田勝頼軍に勝利します。徳川家康は、武田氏を滅ぼすため^{かい}甲斐（山梨県）に向かう途中、北山本門寺に寄ります。住職の^{にっしゆつ}日出は家康に頼まれ、戦いのお守りとして^{にちれん}日蓮^{しょうにん}聖人が実際に書いた曼荼羅を貸します。家康は、この曼荼羅を掲げて戦いに^{のぞ}臨みました。戦いの最中、鉄砲に撃たれましたが、^{たま}弾が曼荼羅の^{かおう}花押（日蓮聖人のサイン）のところで止まり、^{あや}危うきを逃れました。戦いに勝利した家康は、花押の所を切り抜き、^{ひょうぐ}表具（紙などを貼って、巻物やびょうぶなどに仕立てること）した曼荼羅を返しました。お礼に日出の望みを聞きました。当時のこの地の沢はほとんど水が流れておらず、雨水に頼った生活をしていたので、日出は用水路の開発をお願いしました。家康は、代官の^{いでしまのかみ}井出志摩守に用水路を作るよう命じました。それが、現在の北山用水です。本門寺用水とも言います。富士山麓の湧水群を源とする芝川から取水され、現在、市内北部の水田などの農地を潤しています。

ひみつ4 家康に「芝川のり」が贈られたの？

慶長年中（1610年ころ）、^{さおり}佐折村（富士宮市）の^{なぬし}名主、^{もんど}遠藤主水が、芝川のりを300枚家康に贈りました。芝川のり10枚で年貢米^{いっしょう}一升（1.8リットル）くらいの価値がありましたから、芝川のりは当時としても貴重な品でした。どのような手順で献上されたかという、まず、11月初め、駿府から代官がやってきて、遠藤家に滞在します。村では40人ほどが川で採取します。ごみを取って、ゴザ（イグサで編んだ敷き物）1枚のりに4枚を日に当てて乾燥させます。完成したのりを^{しらき}白木の箱に詰めます。これに「御用」の^{かいふ}会府（ふだ）をつけて、縄で縛り、かついで駿府の代官まで届けます。天気によって左右されるので、仕上げるまでに約5日～10日かかっていたと言われています。この間、ずっと役人が監督しています。その後、江戸の家康の元に送られました。この奉仕のかわりに、村の税は免除されました。





富士山本宮浅間大社本殿

富士山本宮浅間大社は、武田軍と織田軍との戦いで、その多くが焼け落ちていました。関ヶ原の戦いで勝利した家康は、この戦いの戦勝祈願がなかったお礼として、1604年に本殿などの再建の命令を出しました。1606年に完成しました。本殿は浅間造りといわれる2階建ての建築様式で造られ、屋根は檜皮葺(ヒノキの樹皮を重ねて造られた屋根)、桃山風の美しい姿で、国の重要文化財に指定されています。徳川幕府の葵の紋が掲げられているので、探してみましよう。その他に、拝殿や楼門も造りました。

1582年、家康は、武田氏征伐のために人穴村を通して甲斐(山梨県)に攻め込もうとしました。しかし、この戦いは、負け戦となり、急いで逃げました。追手が迫る中、林の中の人穴村の洞穴に身をひそめました。穴の中には白衣を着て修行をしている人がいました。名を角行といいます。角行が穴の奥の方を指さしたので、家康は奥に逃げました。追手が来て、角行の胸に刀を当て、「誰か来たか。」と聞かれた角行は、「知らぬ。」と答えました。角行は瞑想し始めます。追手は、角行の人を寄せ付けぬ態度に押されて、他の所を探しに行き、家康は助かりました。のちに富士講(富士山を信仰し、白衣の装束で、六角の杖と鈴を持って富士登山する集団)を興す角行との再会を約束して別れました。対面した時の家康の「対面石」も残されています。この話は、不確かな内容ですが、現在に伝わるお話です。なお、人穴の赤池善右衛門家に残されている文書では、家康一行が赤池家に宿泊した際、赤池家が近くの村から夜討ちがあることを事前に知って、家康を助けたと言われています。家康はそのお礼に、人穴村にかかる税を免除しました。



洞穴の入口

『第39号・徳川家康のひみつ』は、次の資料を参考にして作りました。

- 1 『家康と駿府城』 小和田哲男 1983.4
- 2 『JAF 情報版 直虎・直政、家康まるっとガイド』 JAF メディアワークス 2017.2.19
- 3 訳注『信長公記』 太田牛一著 坂口善保訳注 2018.4.20
- 4 『富士山をめぐる郷土の歴史』 遠藤秀男 1965.3.15
- 5 『富士山麓・伝承の旅』 遠藤秀男 1970.5.25
- 6 『中日新聞 令和4年1月1日』 2022.1.1
- 7 『徳川将軍と富士山』 徳川記念財団 静岡県富士山世界遺産センター 2019.5.1
- 8 『富士宮市ホームページ』 富士宮市 2020
- 9 『人穴と家康 富士西麓の伝説』 遠藤秀男 1963.12.10
- 10 第4回全国小水力発電大会 in 富士宮 開催記念『徳川家康と本門寺堀』 富士宮市 2018.11

『ブックちゃんのふじのみや探検』第2号「浅間大社のひみつ」第4号「織田信長のひみつ」があるから、それも参考にして読んでね。

